



トンボ模型製作・撮影：かわはくボランティア 田中 實 氏

かわはく No.33

CONTENTS

伝統漁法体験	2
体験学習など学校対応について	3
秋を感じるかわはくウォーキング	4
職場体験・博物館実習	5
企画展「きのこノート―森をささえる 菌の華―」開催報告	6
川の日記念イベント「七夕飾り」報告	7
次回企画展予告	7



伝統漁法体験

子どもたちの夏休みも終盤に差しかかる8月22日におこなわれた体験イベント、「伝統漁法体験」の報告をします。

当日は暑さも一段落して心配された雨もなく、かわせみ河原のコンディションは上々でした。実演・指導には埼玉中央漁協寄居支部の方々のご協力を得て、今年も楽しく無事終了しました。

プログラムは、川に網を張る刺し網の実演からスタートしました。残念ながら本命のアユは捕獲できませんでしたが、水量や季節などにより、そう簡単には獲れないようです。

次は投網(とあみ)ですが、その名のとおり網を手を持って投げる漁法です。ベテランの漁師さんによる実演はさすがでした。投網は練習あるのみと子どもたちは熱心にアドバイスを耳を傾け、チャレンジしていました。

それから参加者にライフジャケットを着用してもらい、体験してもらおう立ち込み釣りです。川の瀬の中に入り、自ら餌のカワムシを捕まえてウグイやアブラハヤなどを短い竹竿で釣る方法です。カワムシを捕まえるのに四苦八苦したり、なかなか

か釣れず何度もポイントを変えてみたり、子どもたちの悪戦苦闘ぶりは本当の「体験」といえるのではないのでしょうか。そんな中、ポンポンとウグイを釣り上げて将来の釣り名人(女の子ですよ)ぶりを発揮する参加者もあり、筆者も目を丸くする場面もありました。ちなみに筆者もチャレンジしましたが、アタリが難しく最初の1匹目を釣るまで苦戦しました。

ウケという事前に仕掛けた筒状のわなで捕獲された魚類やエビの特設展示コーナーも設けましたが、参加者だけでなく、かわせみ河原に遊びに来ていた人も興味深く見学していました。今では希少となった魚が捕獲された反面、在来の魚を食する被害のおそれある外来魚コクチバスが多数捕獲されたのは残念でした。

今回のイベントを通じて、今後もたくさん子どもたちが川にふれることのできる機会を設けたいと感じました。

(研究交流部 藤田宏之)



お見事、投網がきれいに開きました



立ち込み釣りにチャレンジ



獲れた魚は何か？



コクチバスの幼魚



学校対応

埼玉県立川の博物館では、年間を通じ博物館とその周辺環境を利用した学校対応をおこなっています。

今年度、4月から10月までに来館した学校は高校4校332名、中学校7校602名、小学校162校12,695名、合計173校13,629名になります。

そのうち13校915名の対応にあたりました。

体験授業は川の博物館に来ていただいた学校に対して行うプログラムで、学年や学習内容、利用

時間にあわせて、利用校の担当の方と打ち合わせを行い、実施しています。

そのため、利用時間によっては解説のみの場合から、隣接する「かわせみ河原」まで出かけて行ってワークシートと体験をあわせたものなど、さまざまな形態があります。

「かわせみ河原」を利用した一例を紹介いたします。

2班に別れ、河原で石について学習する班と、生き物の観察をする班を作り、それぞれが体験をした後、班を入れ替えて体験、学習をします。川をテーマとした博物館ならではの、体験型授業です。



体験学習の様子①



体験学習の様子②



体験学習の様子③



出張授業の様子



荒川大模型 173 を使った解説

そのほかに出張授業も行っています。各学校に川の博物館職員が出かけて行って、教室で行います。授業のテーマやニーズに合わせてスライドを上映したり、簡易水質検査薬（パックテスト）をつかって実際に検査をしています。

ここまで簡単に学校対応の取り組みを紹介してきました、これからも当博物館では授業の進み具合や、学校の周辺の情報にあわせた授業を展開していきます。

小中学校の先生の皆様、川の博物館を使って授業をしてみませんか？（研究交流部 石井克彦）



秋を感じる かわはくウォーキング

10月19日（日）、「秋を感じる かわはくウォーキング」を実施しました。川の博物館では、これまでも「かわはくウォーキング」として博物館周辺の自然や歴史・文化に注目しながら散策する企画を行って参りましたが、今回はこれまで足をのばしていなかった東武東上線^{おぶすま}男衾駅方面を散策してみました。

天候にも恵まれ、青空の下スタッフ含め約20名で出発しました。川の博物館のすぐ裏手にある^{いきのあめのてながお}壺岐天手長男神社では神楽殿などを見て、東武東上線線路わきでは林縁の自然観察を行いました。牟礼地域にある^{ちようしようじ}長昌寺では町の指定文化財にもなっている円空像についてご住職からお話を聞かせていただきました。終着はトンボ公園、およそ5.7kmの道程を3時間ほどかけて歩きました。

かわはくウォーキングには、荒川周辺の自然や文化を様々な視点で知ってもらい、より興味を

もって荒川を考えてもらうという目的があります。図1・2は、今回のイベントに際し作成したポケットサイズに折りたためる解説シートで、文化財や生き物に関する説明を盛り込みました。参加者の方に行程を振り返ってもらえ、かつイベントの後でも楽しんでいただける内容を意識しながら作成しました。また、寄居町よりご協力いただき、男衾地域を紹介した『寄居町ハイキングガイド Vol.4』も参加者の皆様に配布することができました。

かわはくウォーキングは来春、3月29日（日）にも予定しています。季節も変わり、見ることのできる生き物も変わります。ぜひ多くの方々に参加してもらえれば幸いです。

（研究交流部 五十嵐睦）



実施の様子①



実施の様子②



図1



図2



職場体験

博物館実習

川の博物館では今夏、中学校2校、高等学校1校の職場体験と3大学の博物館実習を受け入れました。職場体験では、交流員の日常業務や設備点検、展示などの学芸業務などを体験してもらい、博物館という施設のソフト面ハード面の両者を知ってもらえるような内容にしました。例えば、7月31日に行われたみどりと川の再生フォーラムに合わせ、土壌に関する展示を行った際、一部の展示について、レイアウトからキャプション制作まで一連の作業を担ってもらいました。7月下旬から8月は、一年のうち最も来館者数の多い時期であり、うれしい反面たいへんに忙しい時期でもあります。そうした時期に、博物館ではどのような仕事をしているのか、その大変さとやりがいを体験してもらえたものと考えています。

博物館実習では、3名の大学生に対し学芸員資

格取得のため7日間の実習を実施しました。かわはく夏祭りを挟んだこの期間、イベントの準備・実施、展示の企画・準備作業・実施、ワークショップの企画・実施、生物写真の撮影実習、博物館内の各施設の見学など博物館で学芸業務にあたるために必要な技術や情報について、学び、経験してもらいました。短期間のため、実習で行えるのは全体のわずかな部分でしかありませんが、こうした経験を何らかの形で活かしてもらえれば幸いと考えています。

以上のような職場体験や博物館実習は、川の博物館の多様な側面を知ってもらうため、あるいは将来博物館で働きたいと考えている方々に博物館での仕事を体験してもらうために必要なものと考えており、今後も精力的に受け入れを行っていきたいと考えています。

(研究交流部 五十嵐睦)



博物館実習の様子①



博物館実習の様子②



博物館実習の様子③



博物館実習の様子④



企画展 「きのこノートー森をささえる 菌の華ー」 開催報告

会期：平成20年9月27日（土）～11月16日（日）

秋期企画展「きのこノートー森をささえる 菌の華ー」が、川の博物館本館第二展示室で行われました。自然の博物館と共催である本企画展では、きのこに関する多くの標本展示とともに、盛りだくさんな企画を用意しました。ここにその一部を紹介します。

○展示内容

凍結乾燥標本やレプリカを中心に、約230点の資料を展示しました。さまざまなきのこグッズを集めた「きのこグッズ大集合」や「きのこを食べる」のコーナーなどは、きのこがいかにも身近なものであるかを感じられる展示となっています。

「ところかわれば」のコーナーでは、森ときのこの共生関係を表すジオラマを制作しました。レプリカ以外はすべて職員の手製で、森に生きるきのこの様子が分かりやすく再現されました。

「光るきのこの部屋」では、非常に珍しいヤコウタケとエナシラッシタケの生体展示を行いました。生物のため日によって光ったり光らなかつたりで見られないこともありましたが、見られた方はきのこが光る不思議を堪能していました。

○スロープ展

「きのこ七色・ボタニカルアートの世界」

きのこ展に合わせて、第一展示室のスロープでもきのこの水彩画展示を行いました。美しいきの

こ絵の数々で、第二展示室とはまた違った視点できのこが楽しめる展示でした。

○自然の博物館の「冬虫夏草展」

埼玉県立自然の博物館でも、きのこ展に合わせて冬虫夏草の特集展示を行いました。2館を巡るスタンプラリーも行い、両方の博物館を楽しんだ方も多かったようです。

○関連イベント「きのこ観察会」

10月5日（日）に小川げんきプラザで行われました。19名の方が参加し、埼玉きのこ研究会の方々と共に約100種類ほどのきのこを見つけることができました。

その他、「きのこの世界」映画会やレストランでのきのこ料理販売など、充実した内容の企画展でした。次回は春期企画展「カエル・かえる・蛙」となりますので、楽しみにしていただけたいと思います。

（研究交流部 小林まさ代）



第二展示室のようす



ブナ林のきのこ（ジオラマ）



光るきのこ ヤコウタケ



きのこ観察会のようす



川の日記念イベント

今年も川の日記念行事として、7月6日に「七夕飾り」を実施しました。これは、ボランティアスタッフが中心となっておこなわれている手作りイベントです。スタッフが力を合わせて準備した手作りの大きな七夕飾りに、参加者に願いごとを書いた短冊を飾り付けてもらいました。

当日はまずまずの天候で、親子を中心に240名あまりの参加者があり、盛況のうち終了しました。願い事は思いつきですらすら書くもあり、じっくり考えながらあれにしようかこれにしようか相談

七夕飾り 報告

しながら書くもあり、様々でした。それぞれの願いを拝見しましたところ、こちらも様々で、現実的な願いあれば夢のような願いありで、皆それぞれ色々な思いがあり、どれも真剣だなと感じました。

たくさんの参加者が飾り付けた大きな七夕飾りは本館玄関前に1週間展示され、学校遠足で来館した子どもたちにも好評でした。

蛇足ながら後で気づきましたが、当館スタッフもこっそりと願いごとを飾っていました。

(研究交流部 藤田宏之)



さあ、短冊は何色に？



どこに飾ろうかなあ



ボランティア集合



願い事はどうしよう？

次回企画展予告

次回2009年3月20日より開催される企画展は「カエル・かえる・蛙」として、カエルをはじめとする両生類を取り上げます。

近年はすっかり姿を見せなくなったことで注目されていますが、その昔から人々に愛され、今なお親しまれている生きものとして、興味深い展示を目指して準備中です。



川の博物館にふさわしく、命をつなぐ場が川である「川のカエル」について、中でも荒川に縁深いカエルを中心に据え、琉球列島を含む日本各地の、同じ両生類であるサンショウウオのことも、カエルの生態を解き明かす最先端の研究などについてもふれてみたいと考えています。

カエルたちも冬眠から目を覚ます頃、当館でお待ちしております。

(研究交流部 藤田宏之)

12月

12/16/火～1/12/月

荒川図画コンクール（国土交通省連携展）
内容：荒川図画コンクールの作品を展示します。

6/土 かわはくサタデーミュージアム
「色のかわるふしぎな水」
時間：14:00～15:30 定員：32人（申込順）☎
費用：100円
内容：さまざまに変わる水の様子を楽しめます。

14/日 荒川ゼミナール「食と環境②」
おばあちゃんに習う昔のおやつ
時間：13:30～15:30 定員：32人（申込順）☎
費用：300円（材料費）
内容：秩父地域のおやつ作りを体験します。

20/土 かわはくサタデーミュージアム
「葉っぱのふしぎとクリスマスカード作り」
時間：14:00～15:30 定員：32人（申込順）☎
費用：100円
内容：オリジナルクリスマスカードを作ります。

21/日 映画会「スノーマン」
時間：13:30～ 14:30～ 定員：80人（先着順）
費用：無料
内容：子ども向けの映画です。

23/火～25/木 かわはくクリスマスファンタジー
内容：全館ライトアップほか

1月

1/31/土～2/11/水祝

フォトコンテスト作品展「川の国 埼玉」
内容：フォトコンテスト「川の国 埼玉」の作品を展示します。

4/日 かわはくからあけましておめでとう
内容：お正月ならではの伝統行事を体験できます。

10/土 かわはくサタデーミュージアム「静電気のふしぎ」
時間：14:00～15:30 定員：32人（申込順）☎
費用：100円
内容：身近にある静電気、そのふしぎを体験します。

11/日 映画会「リトル・ポラベア」
時間：13:30～ 14:30～ 定員：80人（先着順）
費用：無料 内容：子ども向けの映画です。

18/日 荒川ゼミナール「食と環境③」手打ちうどんとおつきりこみ
時間：13:30～15:30 定員：32人（申込順）☎
費用：300円（材料費）
内容：秩父地域の伝統食うどん作りを体験します。

22/木 大人の遠足「荒川河口を見る」
時間：13:00～16:00 定員：30人（小学校高学年以上・申込順）☎
費用：100円（保険料）
内容：荒川を船で下り、荒川の特徴を観察します。

24/土 かわはくサタデーミュージアム「石の中身を観察しよう」
時間：14:00～15:30 定員：32人（申込順）☎
費用：100円 内容：荒川の石の中身を観察します。

かわはくで学ぼう!!

イベント情報コーナー

2月

2/28/土～3/8/日

2008彩の国環境地図作品展（立正大学連携展）
内容：環境地図作品を展示します。

14/土 かわはくサタデーミュージアム
「バードコール作りと野鳥観察」
時間：14:00～15:30 定員：32人（申込順）☎
費用：100円
内容：冬の鳥を観察します。

15/日 映画会「森のトントたち 白鳥の湖」
時間：13:30～ 14:30～ 定員：80人（先着順）
費用：無料
内容：子ども向けの映画です。

22/日 荒川ゼミナール「食と環境④」
つくって体験・こんにゃくのひみつ
時間：13:30～15:30 定員：32人（申込順）☎
費用：300円（材料費）
内容：こんにゃく作りを体験します。

28/土 かわはくサタデーミュージアム
「おひなさまづくり」
時間：14:00～15:30 定員：32人（申込順）☎
費用：100円
内容：雛祭り目前、おひなさまを作ってみよう。

3月

3/20/金・祝～5/10/日

春期企画展「カエル・かえる・蛙」

7/土 かわはくサタデーミュージアム
「川原のアート」
時間：14:00～15:30 定員：32人（申込順）☎
費用：100円
内容：川原の素材を使って、アート作品を作ります。

21/土 かわはくサタデーミュージアム
「ふしぎな氷の世界」
時間：14:00～15:30 定員：32人（申込順）☎
費用：100円
内容：氷のふしぎな世界を体験してもらいます。

22/日 映画会「三ねん寝太郎」
時間：13:30～ 14:30～ 定員：80人（先着順）
費用：無料
内容：子ども向けの映画です。

22/日 かわはく春祭り
時間：10:00～16:00
内容：各種子ども向けイベントを開催します。

ホームページでも紹介しています！

<http://www.river-museum.jp/index.htm>

【お願い】①行事は都合により変更になることもあります。ご了承下さい。②☎印のついた行事は事前申込みが必要です。電話またはFAX、Eメールでお申し込みください。③定員になりしだい締め切ります。④川の情報もお寄せ下さい。

編集・発行

埼玉県立川の博物館

〒369-1217 埼玉県大里郡寄居町大字小園39番地

TEL/048-581-8739(研究交流部) FAX/048-581-7332

Eメール/web-master@river-museum.jp



彩の国さいたま

2008年11月25日発行

